



社団法人 横須賀青年会議所

「集え市民！共に創ろう横須賀の未来を」

～横須賀市長選挙ローカルマニフェスト型公開討論会～

開催場所：ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

開催日時：2009年6月18日（木）

19：00～21：00

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 会場内の注意事項説明
4. 資料の説明
5. 候補者予定者の紹介
6. 進行上のルール説明
7. 公開討論会

横須賀市長選挙立候補予定者

大竹 則子氏

蒲谷 亮一氏

呉東 正彦氏

吉田 雄人氏（※五十音順）

コーディネーター 小塩 良一氏

8. 閉会

会場での注意事項（ご来場のみなさまへのお願い）

■次の事項をお守りくださいますようお願いいたします■

- ①立候補予定者の発言を妨げるような言動（ヤジ、私語など）はおやめください。
- ②開会時、閉会時および司会が促した時以外の拍手はおやめください。
- ③特定の立候補予定者のイメージに関わる行為（ﾌﾞﾗｯﾄﾞの掲示や宣伝活動）はおやめください。

■討論会を円滑に運営するために次の事項に御協力願います■

- ①原則として、開会後の入退室は閉会まで御遠慮願います。トイレ等も必ず開会前に済ませて頂けませう様お願い致します。
- ②客席からの立候補予定者への直接の質問等は一切ご遠慮願います。
- ③当会が許可をした場合を除いて、ホール内での写真・ビデオ等の撮影・録音は一切ご遠慮願います。
- ④携帯電話等のスイッチはあらかじめお切りください。

上記の事項を守っていただけないために、討論会の運営に支障が生じると判断される

場合、退場をお願いすることがあります。あらかじめご了承願います。

立候補予定者の紹介（経歴）（※五十音順）



大竹 則子氏 プロフィール

1955年（昭和30年）生まれ。

新潟県立新潟中央高校卒業

これまでの経験を生かして、社会貢献性のある事業を企画立案して企業行政に提案する会社「夢現社」を昨年に設立。現在、横須賀市二葉在住



蒲谷 亮一氏 プロフィール

昭和42年 3月 東京大学法学部卒業 同年4月 自治省入省

昭和53年 4月 広島県企画部企画課長兼行政監察員 総務部財政課長

昭和58年 6月 札幌市財政局財政部長 財政局長 助役

平成 4年 4月 宮城県副知事

平成13年10月 横須賀市助役 平成15年4月横須賀市副市長

平成17年 7月 第34代横須賀市長 現在に至る



呉東 正彦氏 プロフィール

横須賀生まれ 横須賀育ちの49歳。追浜在住。東大法学部卒業後、派遣村名誉村長の宇都宮弁護士に師事し、23年間弁護士として常に弱い立場に立って活動。クレジット・サラ金等の多重債務で苦しむ市民の力となり、無料相談会の開催を中心に担い、グレーゾーン金利撤廃の最高裁判決にも大きく貢献。また、生活環境の悪化を招く乱開発問題にも取り組み、さらに生命と財産を脅かす原子力空母問題についても、住民投票直接請求運動の中心となり活動



吉田 雄人氏 プロフィール

1975年 12月3日生（卯） いて座のA型

1994年 県立横須賀高校（46期：生徒会長）卒業

1999年 早稲田大学政治経済学部政治学科 卒業

同年 イギリス・ロンドンに短期語学留学（約3ヶ月）

2002年 アクセンチュア株式会社 退社（大学院入学）

2003年 横須賀市議会議員 5,911票で初当選

2006年 早稲田大学 大学院 政治学修士（地方自治行政）卒業

2007年 横須賀市議会議員 11,442票で再選 無所属

コーディネーター紹介

小塩 良一氏

1964年生まれ

44歳 文京大学情報学部広報学科

昭和62年 榊タウンニュース社入社

平成18年 横須賀支社 支社長

横須賀ロータリークラブ会員



公開討論会進行ルール

公正中立を旨とする公開討論会では、進行上のルールを設けさせて頂いております。

- ① パネリストの皆様には、あらかじめ公平なくじ引きで席順を決めております。
- ② 席順が決まると、主催者が用意した乱数表により各設問の発言順番が決定します。
- ③ 限られた時間をなるべく有効に使う為に、各設問ごとにくじ引きを行うことはいたしません。
- ④ 各候補予定者の発言時間は均等になる様に、タイムキーパーが発言時間の計測と終了時間のお知らせを行います。

横須賀ミニ情報

□ 平成21年6月1日現在の横須賀市に選挙人名簿登録者数

男 175,471人
 女 177,761人
 計 353,232人

□ 人口（平成21年6月1日現在）

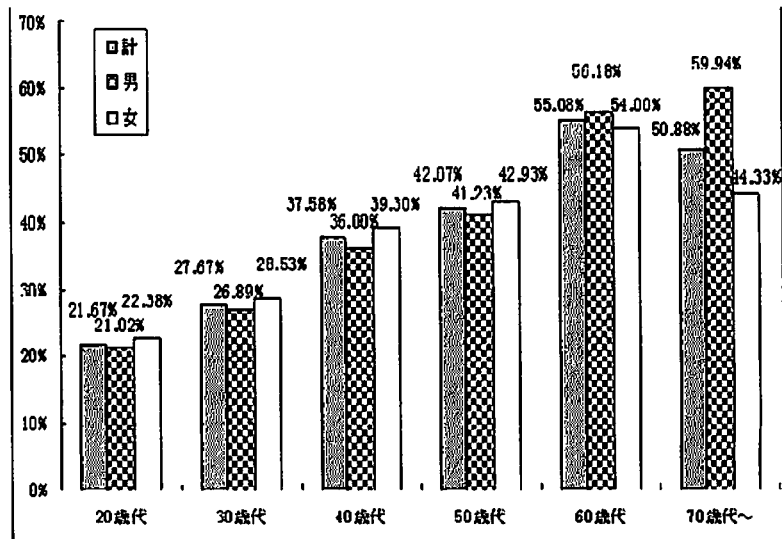
男 210,453人
 女 210,543人
 計 420,996人

□ 老年人口（65歳以上・平成21年4月1日現在）

男 45,315人
 女 57,399人
 計102,714人（総人口426,099人に対して）

□ 過去の市長選挙投票率

昭和40年	69.39%
昭和44年	41.94%
昭和48年	68.71%
昭和52年	58.76%
昭和56年	56.65%
昭和60年	34.69%
平成元年	34.03%
平成5年	35.47%
平成9年	32.22%
平成13年	33.95%
平成17年	40.19%



平成17年市長選挙の年代別（男女別）投票率グラフ

※全て、横須賀市ホームページより抜粋

ローカルマニフェスト型公開討論会開催の意義

いま、市民の政治離れや政治への無関心が進んでいると言われ、自らが主権者であることすら忘れていないのでしょうか。もっとも重要な政治への参画である投票行為でさえ、政治を他人事として捉え、自らの一票では何も変わらない、また誰に投票しても横須賀の地域社会は変わらないという諦念、そして政治が自分たちとは関係のないところで行われているという政治に対する関心の希薄さに起因するものと考えられます。

(社)横須賀青年会議所は2005年の横須賀市長選挙において公示日前では全国初となる「ローカルマニフェスト型公開討論会」を開催いたしました。当時はまだ地方選挙でのマニフェスト(政策宣言)という概念は浅く、立候補者がどのような人物で、どのような政策を有するのかを直接知る機会がないまま投票日を迎えるということにならざるを得ませんでした。

過去の単なる氏名の連呼による選挙運動ではなく、具体的な政策を語っていただくことで市民に支持された政策によって選ばれた代表者が政治を担うことになり、政策誘導による社会の実現へと繋がるものと考えます。

そして現在では、私たちの燈した小さな灯火が瞬く間に全国に広がり着実に地域に根をおろしています。

私たちは、公開討論会について、最終的には我々を含めた市民の手によって自由に開催されるべきだと考えます。市民の皆様と共に開催をし、この横須賀の未来のために共にまちを創る事が当青年会議所が目指す「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと考えます。

2009年度社団法人横須賀青年会議所

理事長 中台 学

●問い合わせ先：社団法人 横須賀青年会議所 事務局 (対応時間 月火水金 9時～15時)

〒238-0013 横須賀市平成町2-14-4

TEL046-824-1061 FAX046-824-1060

ホームページ <http://www.yokosukajc.com/>

メールアドレス info@yokosukajc.com